

「災害とこころのケア」

～こころの雪をとかそう～

平成25年2月8日(金)～3月29日(金)



平成16年の中越地震、平成19年の中越沖地震の発生により、新潟県では新潟県精神保健福祉協会こころのケアセンターが開設され「被災とその後の生活ストレスに伴うPTSDやうつ病等の精神疾患の予防・早期発見を図るとともに、被災者の精神的健康の回復を図ること」を目的に活動を続けてきました。しかし、中越地震から10年を迎える平成27年2月に活動の終了を予定しています。その一方で、一昨年発生した東日本大震災の被災地において、こころのケアセンターが開設され活動が始まっています。

本企画展では、新潟県精神保健福祉協会こころのケアセンターの活動の総括としてパネル展示及び講演会を開催するとともに、これから活動の本格化する東日本大震災の被災地の各センターの活動を紹介します。

講演会

会 場：長岡震災アーカイブセンターきおくみらい

長岡市大手通 2-6 フェニックス大手イースト 2 階 TEL：0258-39-5525

定 員：50名 聴講無料

中越地震、中越沖地震の被災者及び支援関係者、
東日本から県内への避難者及び支援関係者、また関心のある方

第1回：3月3日(日) 13:30～15:00



「被災者の心の回復を願って～復興期の支援のあり方～」

兵庫県こころのケアセンター センター長 加藤寛氏

第2回：3月24日(日) 13:30～15:00



「グリーフケア～災害で大切な人との別れを
体験した人をどう支えるのか～」

龍谷大学短期大学部社会福祉学科 准教授 黒川雅代子氏

災害からの復興には長い時間を要し、被災者はさまざまなストレスにさらされます。回復していくためには、ストレスを低減させるための取り組みと、コミュニティとのつながりを取り戻していくことが必要です。阪神・淡路大震災後の経験をとおり、今、東日本大震災の被災者にどのような支援が必要なのかを考えます。

「災害とこころのケア」

～こころの雪をとかそう～

ミニ講話・交流会

第1回：3月10日（日）13：30～15：00

第2回：3月17日（日）13：30～15：00

定 員：30名 参加無料 関心のある方 どなたでもご参加いただけます

中越地震の被災地で、どのようなこころのケアが行われてきたのでしょうか。被災者のみなさんの一番近くで活動し、何気ない会話の中から被災者の求めるニーズをいち早くキャッチしてきた当時の保健師さんから情報提供をいただきます。

震災から時と共に癒されること、今でも心を痛める過去の記憶、それらとどう付き合っていくのか、皆さんの想いもお聞かせください。

パネル展示

期 間：2月8日（金）～3月29日（金）

新潟県精神保健福祉協会こころのケアセンターの活動紹介およびこころのケアに関するパネルを展示します。

【 会 場 】長岡震災アーカイブセンターきおくみらい

入場無料

長岡市大手通 2-6 フェニックス大手イースト 2 階

TEL：0258-39-5525 FAX：0258-39-5526

◆主催：長岡震災アーカイブセンターきおくみらい 新潟県精神保健福祉協会こころのケアセンター

◆後援：長岡市

◆協力：岩手県こころのケアセンター

宮城県精神保健福祉協会みやぎ心のケアセンター

福島県精神保健福祉協会ふくしま心のケアセンター

相馬広域こころのケアセンターなごみ

お問い合わせ・お申し込み欄

お申し込み

送付先：長岡震災アーカイブセンターきおくみらい 山崎宛

住所：長岡市大手通 2-6 フェニックス大手イースト 2F

TEL：0258-39-5525 FAX:0258-39-5526 E-mail:kiokumirai@cosss.jp

所属				
お名前				
TEL		希望日	講演会	3月3日 ・ 3月24日
E-mail			ミニ講話	3月10日 ・ 3月17日
よろしければお聞かせください (〇を付けてください)	中越・中越沖地震被災者の方 / 県内への避難者の方 / 支援関係者の方 / その他の方			

お申し込み締切：定員になり次第締め切りといたします。ただし、定員に満たない場合は当日参加もお受けいたします。